

栗山高校「生活と福祉」

姿勢と動作：寝返り・座位・立位・移乗の介護の基本

令和 6年 6月 27日（木） 11:45～12:35

栗山町立 北海道介護福祉学校 藤田 秀剛

（介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員）

梶 幸奈 （介護福祉士）

演習内容

1. 私たちが行っているからだの動き～姿勢について

- ① 寝返り ② 起き上がり ③ ベッドに座る
- ④ 立ち上がる ➡ **「起居動作」** という。

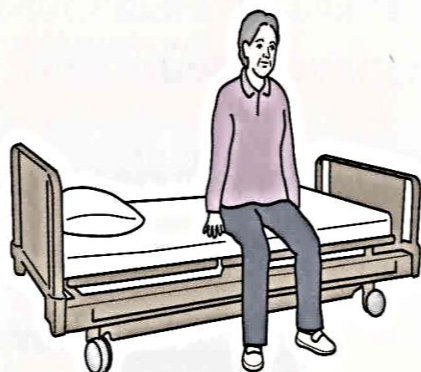
2. ベッド⇔車いすへの移乗の介護

本時の目標

- **姿勢と動作の基本**を学び、日常動作と照らし合わせてみる
- 介護の3つの原則を知る
- 言葉掛けを行い、※協力動作を促すことができる
 - ☛ 「できること」は、具体的に促す
 - ☛ 「困難」や「支障」のあることをサポート
- **相手を尊重する態度を養う**ことができる

姿勢(体位)の種類

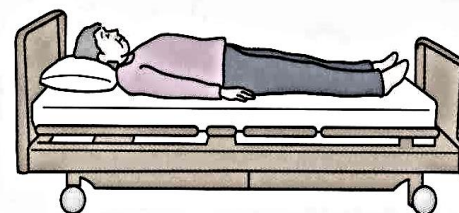
座位 端座位



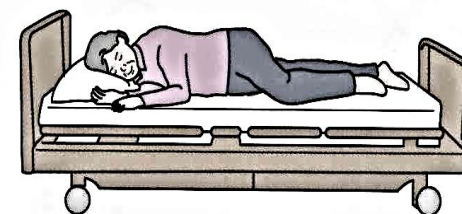
椅座位



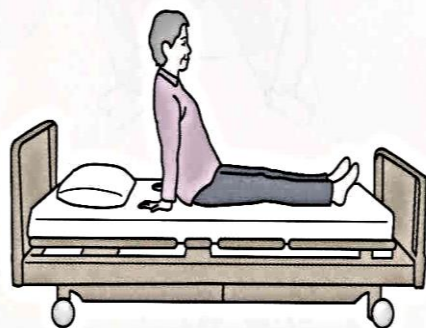
臥位 仰臥位 (仰向け)



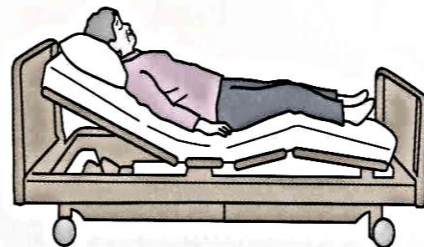
側臥位 (右側臥位)



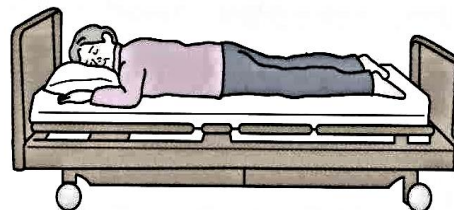
長座位 (足を伸ばし上体を90度起こす)



半座位/ファラー位 (上体を15~45度起こす)



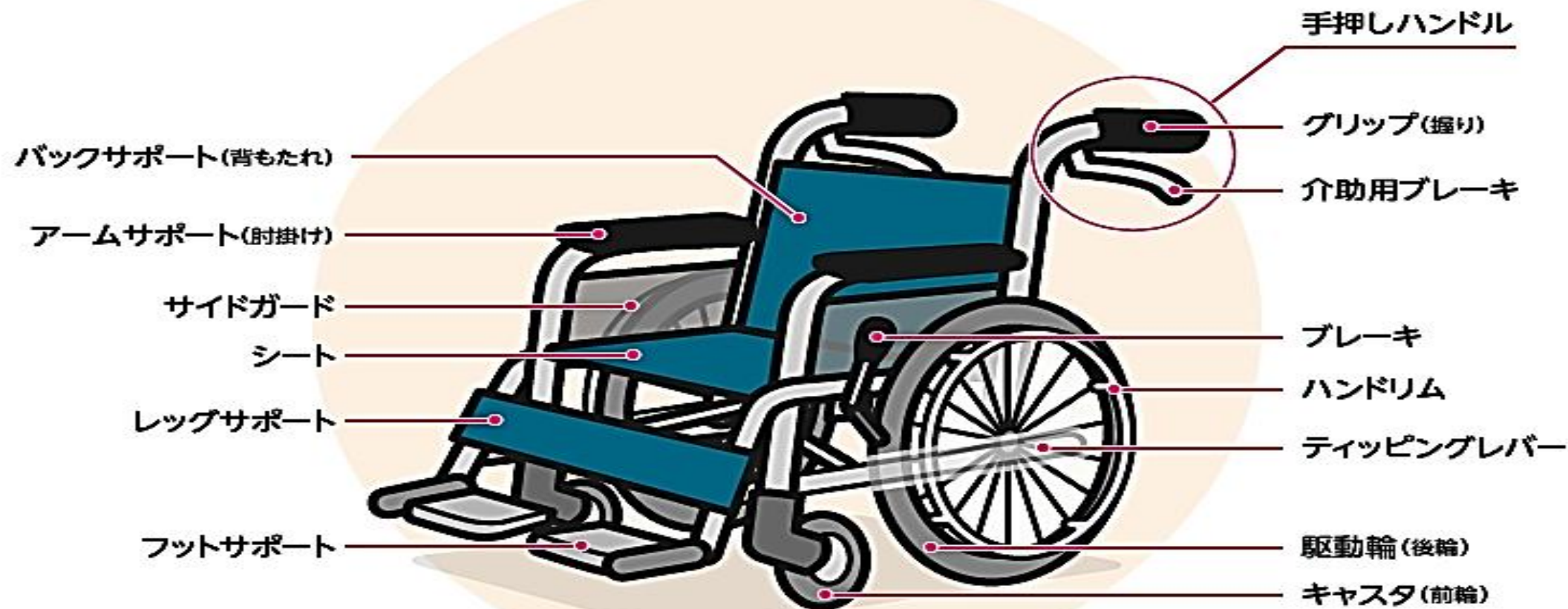
腹臥位 (うつ伏せ)



立位



車いすの名称



まとめ ～ 介護の3つの原則

安全・安楽

- 利用者本人、介護者双方に通じ、危険防止の視点に立つ
- 転倒、転落、強打に注意し、麻痺側を保護する

自立支援

- 介護を受けながらも、生活の自立を継続する
- もっている機能や本人の強みを活用した自律へ向かう

個人の尊厳

- その人の意向と個性が尊重され、人権が守られる
- 介護を受ける人の立場に立ち、プライバシーを守る